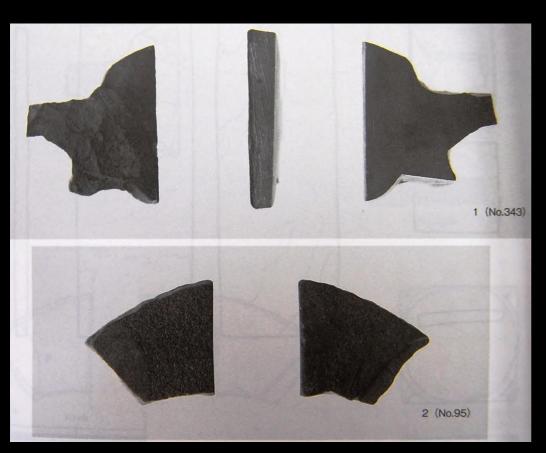
田和山文字から世界の文字の歴史まで



A. Hori 2020

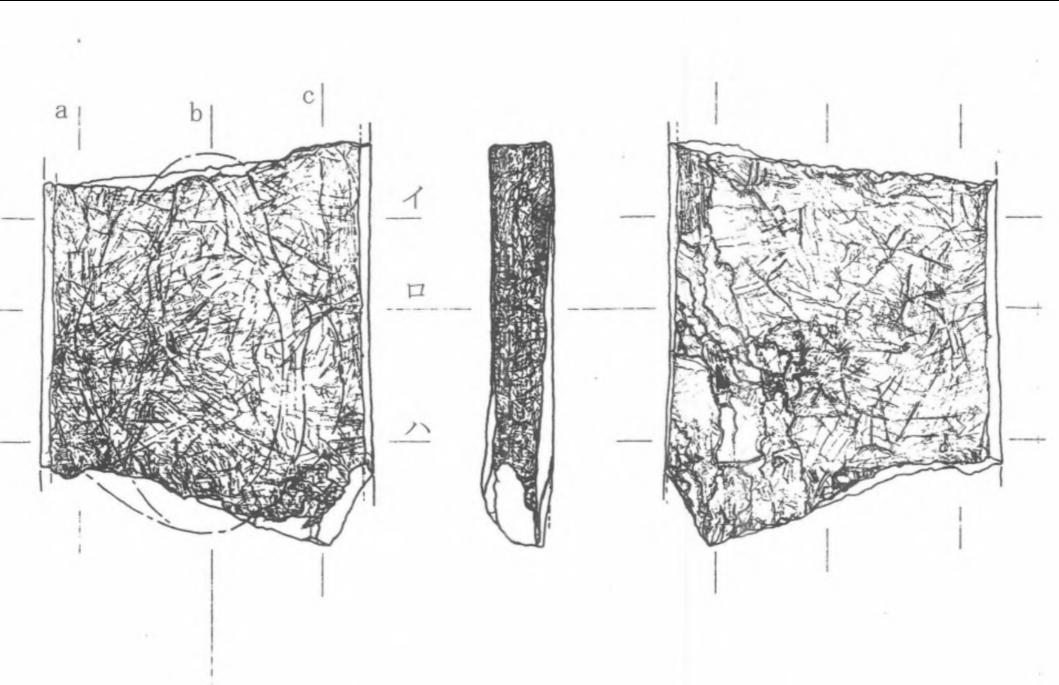
田和山出土の板石硯





田和山第一環濠出土 弥生時代中期、紀元前1世紀

福岡市教育委員会 久住猛雄氏による実測図





「文字」部分拡大(実大)



厚さ1センチほどの薄い凝灰岩の砥石 ⇒弱い力が加わった。中央がくぼんだ擦痕は 硯と近似

- ⇒裏面の文字 子戊 (子孫繁栄) 持ち主の名前か?
- ⇒日本人ではなく中国人
- ⇒裏面の漆痕は箱に接着した痕(最初は裸 の硯だったが、後で箱が作られた。
 - ⇒漢からの出稼ぎお雇い人(交易等に従事)



中国山東省出土の 前漢時代の漆塗り硯箱と、 中に入っている板石硯と 研石。

レプリカ、田和山サポート クラブ製作

田和山の板石硯は弥生時代中期、紀元前1世紀ころのもの

北九州でも最近は弥生中期の板石硯が発見されるようになったが、田和山はその嚆矢とされる。

しかも日本最古の文字が記されている。

ここで世界の文字の起源を見よう。

文字の起源最古の文字

楔形文字 メソポタミア 5500年前 ヒエログリフ エジプト 5200年前 インダス文字 パキスタン4500年前

漢字

中国 3500年前

世界最古の文字楔形文字







神殿と長老会が支配する都市国家が生まれた(5500年前)。

戦争を経て領域国家(5000年前)、やがて統一国家、帝国(4300年前)が成立した。

交易と神殿が発展の中心にあり、文字システムもその中から生まれ発展していった。



メソポタミアの初期文字板出土状況ウルクが突出している!

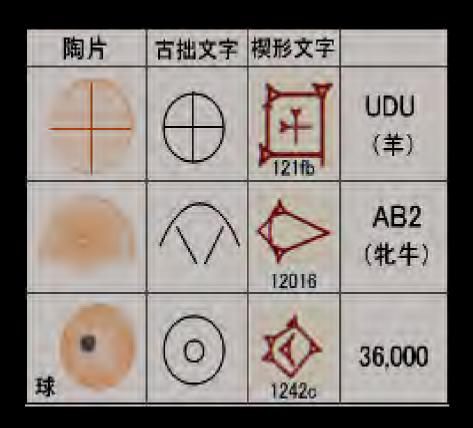
品物をあらわす粘土塊と数を示す粘土塊 (トークン)を封をして送れば、送り状として 使える。

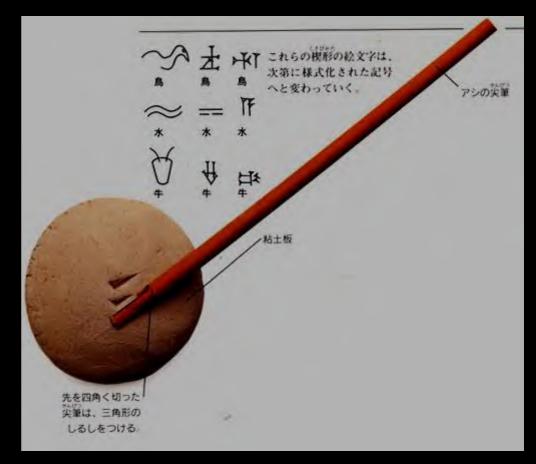


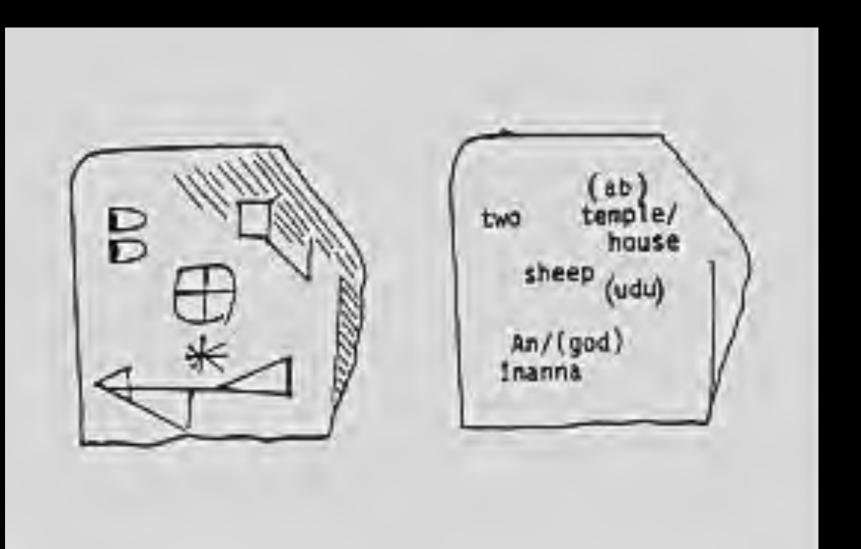




トークンの形を粘土板にへらで刻むと楔形文字になる!







ウルク期5100年前の文書 豊穣の女神イナンナの神殿に羊二頭が奉 納された。・



多几分别提出而 大速 医放射

メソポタミアでは交易と神殿の財物管理の記録を作るため、最初の絵文字が生まれた。

やがて線文字、楔形文字に発展し、表意文字と表音文字を組み合わせた文字システムが、神殿、王宮の官僚によって洗練されていった。

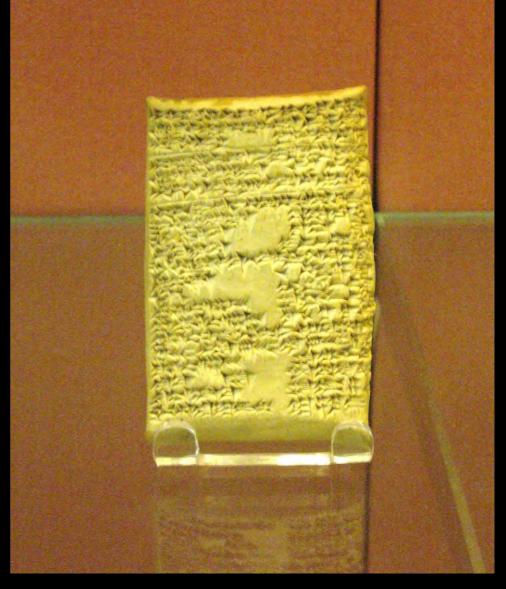
文学(世界最古の物語:ギルガメシュ王の冒険)、天文学、神話、数学も記録された。

神殿や王宮付属の学校で書記は訓練され、上級官僚となっていった。過去の記録を読めることが、知識を飛躍的に増やしたのである。



マリ(シリア北部)の王級付属書記学校





シュメール語とアッカド語の辞書

前1500年頃のガラス製法秘伝書

大英博物館

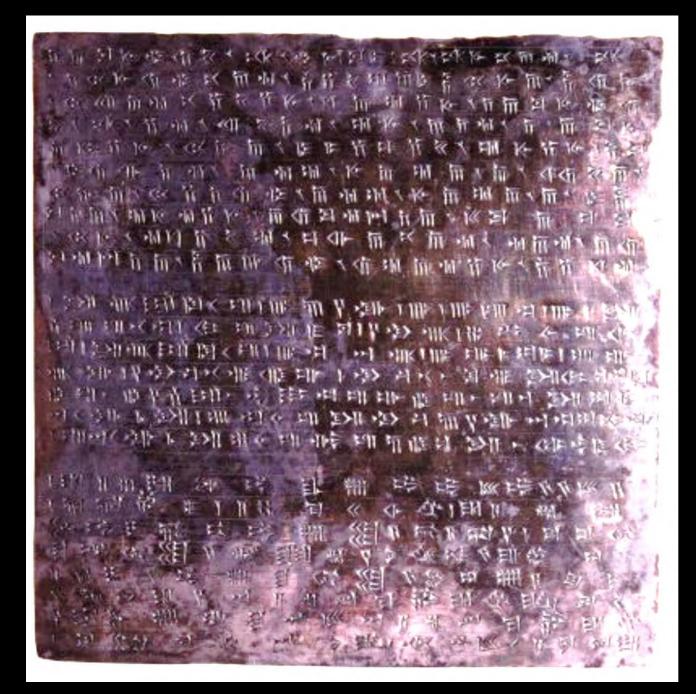


ニネヴェ遺跡出土のアッカド語版ギルガメシュ物語 聖書の洪水伝説を含む世界最古の長編小説 大英博物館



アッカド時代の書留文書 大英博物館

メソポタミアで発明されたシュメール 人の楔形文字は、やがてアッカド語や ウガリト語、ヒッタイト語、ペルシャ語に も使われるようになった。



古代ペルシア語

エラム語

バビロニア語

ペルセポリス碑文

世界最古の平和条約

3280年前 相互不可侵 共同防衛



ボアズキョイ出土ヒッタイト 語粘土板



ラムセス二世葬祭殿

アレクサンダー大王の東方侵略、ヘレニズム化の中で、簡便なアルファベットによるアラム語、ギリシア語が盛んになり、紀元前後ころ楔形文字は使われなくなった。

エジストの文字

- ⇒エジプトはナイルの賜物(ヘロドトス)
- ⇒狭い河谷平野でメソポタミアの影響のもと、急速に都市化、統一王朝が形成された。



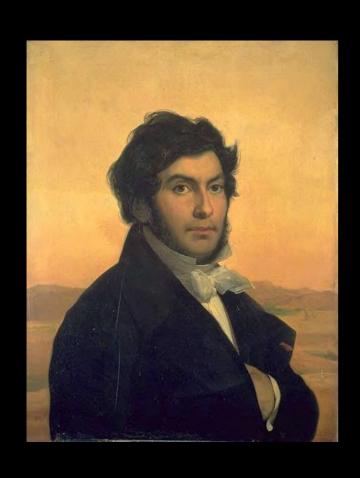
最初の統一王ナルメル:5100年前



エジプト最古の王ナルメルのパレット 古代オリエント博物館レプリカ



ヒエログリフの解読:シャンポリオン





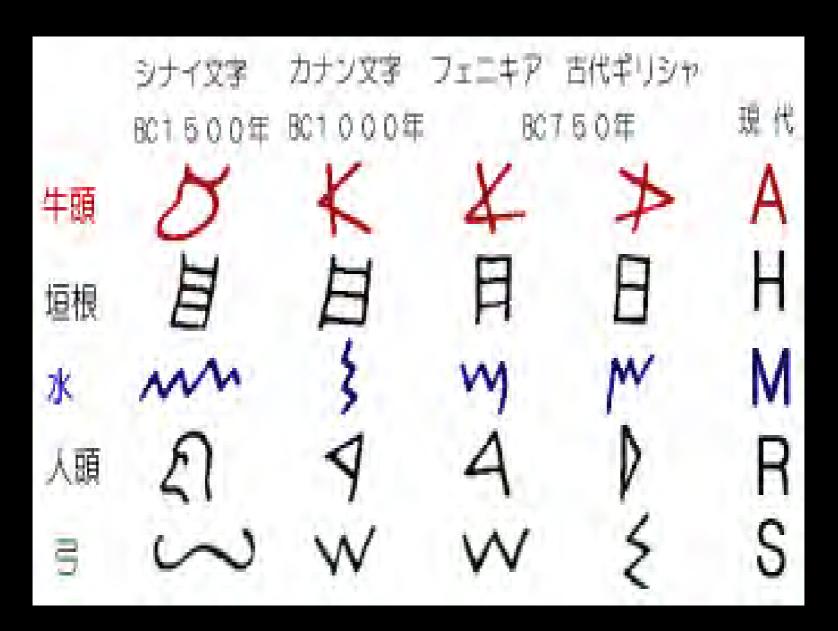
ロゼツタ出土 2200年前 大英博物館

。MMVP6三公位中心支票等于11至4个1至1至11年至中的10年的10年 一意と生活に、一声「いい」という「人で、一声によった。」 经行金上流,你们也会们们会也是主意是们们随后会就,这时是 HILL的三点。面V差配以从上OTILICHITAR是三点系(面)包括出 "是见金(《恋大点》的"以为亲人"。(以此人田)"正宝"。 T一声是多而是「VIALAKTYN代生:至於川盖馬人全(402月)至 Vigin アーファスラミュニバングログ MALLET MALLULAN MALLUL المعالمة المعالية والمراجعة والمراجعة المادية المعالية والمعالية والمعالية والمعالية والمعالية والمعالية

エジストの文字は王を称えるために生まれた。

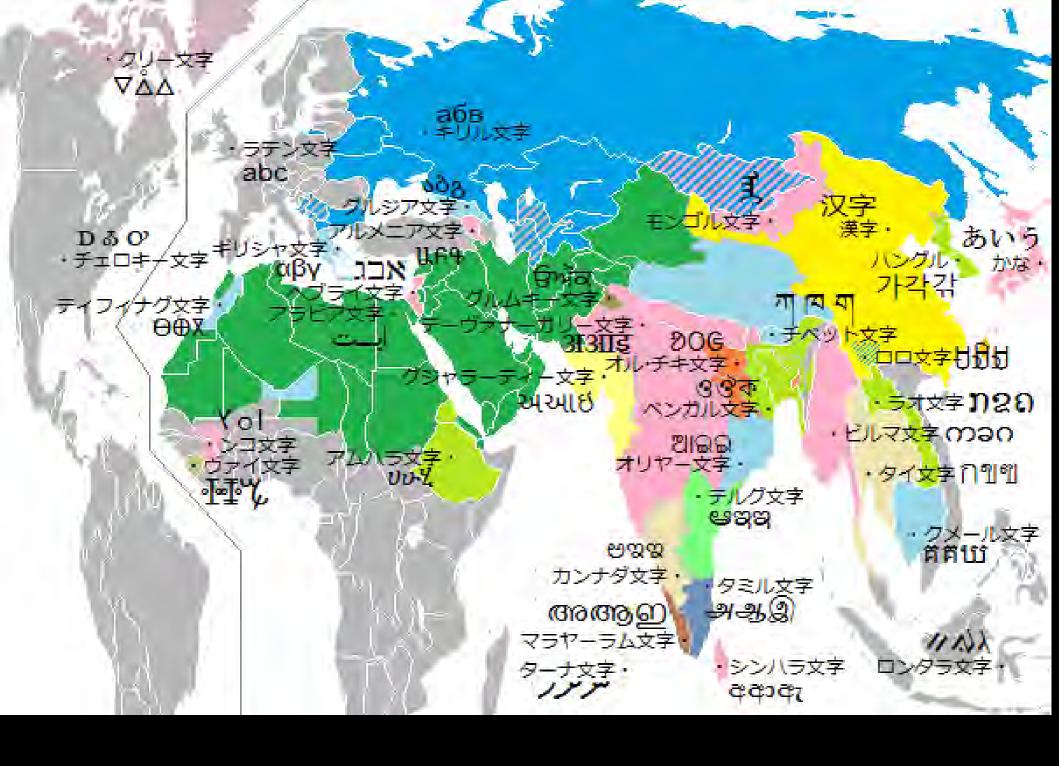
- つ やがてヒエログリフだけでなく、神官文字や民衆文字など簡便な文字も出現。
- ⇒ 周辺の民族も自分たちの記録に使い始めた
- → その代表がシナイ文字

シナイ文字は周辺のセム民族に受け入れられ、やがてアルファベットとなり、世界に広がっていった。



- っ古代エジプトの文字もアレクサンダー大王の東方侵略、ヘレニズムの波の中で消えていった。
- ⇒アルファベットを使うギリシア語やアラム語が一般化する。





- つシナイ文字から発展したアルファベットがユーラシア大 陸の大半で使われたが、
- つ東アジアでは全く別系統の 漢字が頑張っている。

それが漢字の世界だ!

⇒漢字は3500年前、商王朝の殷墟 で、占いのために発明された:甲骨文

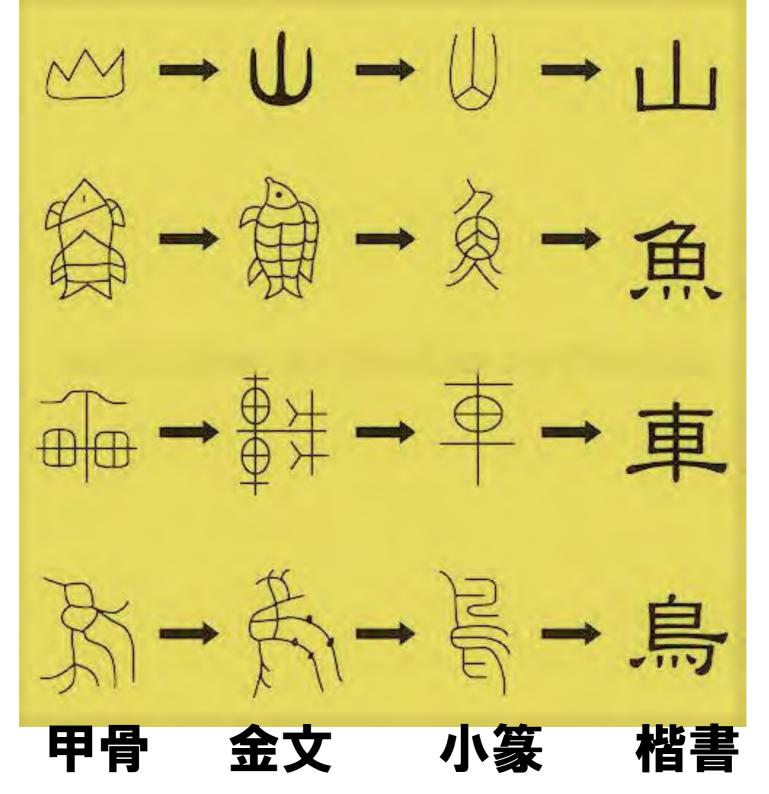








甲骨文字





漢代の木簡

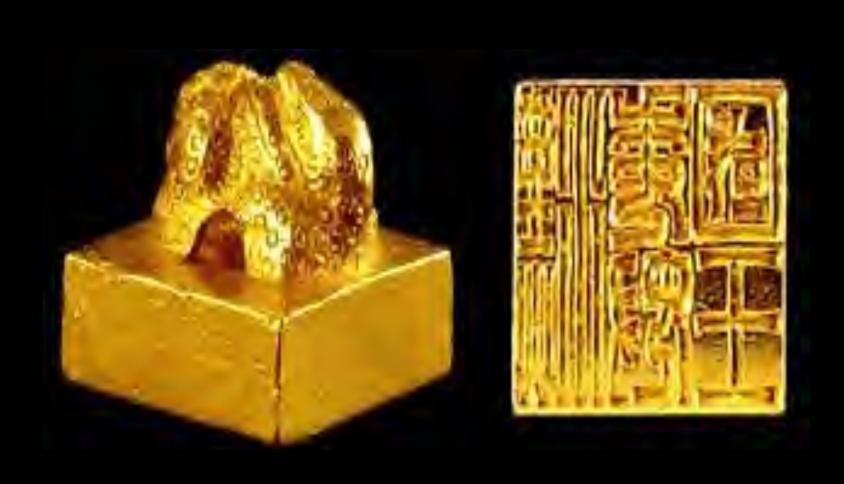
○『漢書』地理志

○「然東夷天性柔順、異於三方之外、故孔子悼道 不行、設浮於海、欲居九夷、有以也夫。樂浪海 中有倭人 分爲百餘國 以歳時來獻見云」

⊃『後漢書 東夷傳』

○「建武中元二年(西暦57年)倭奴國奉貢朝賀 使人自稱大夫倭國之極南界也 光武賜以印綬」

後漢の光武帝が57年に 倭奴国王に授与した金印 田和山石硯発見までは 日本最古の書道資料



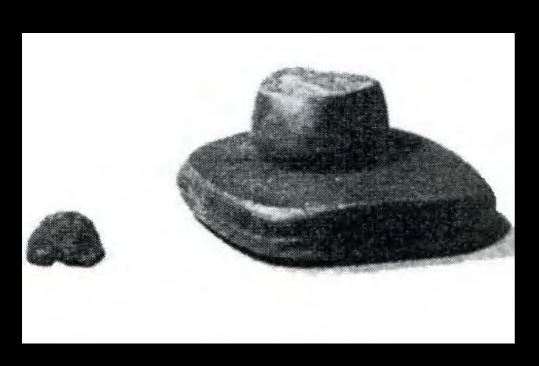
筆と硯の歴史



1) 殷墟の甲骨にも 墨書や朱書の跡が 見られる。

⇒ 2)長沙筆 戦国時 代(ウサギの毛)

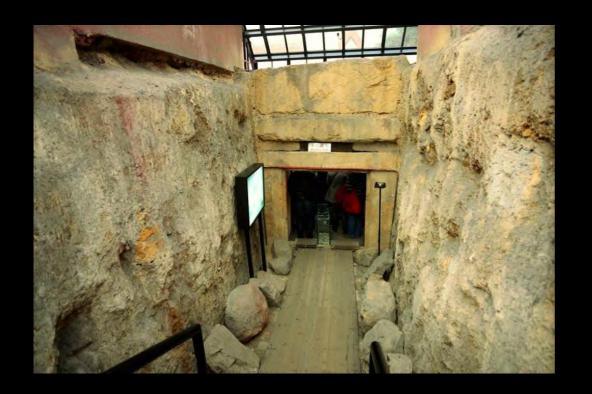




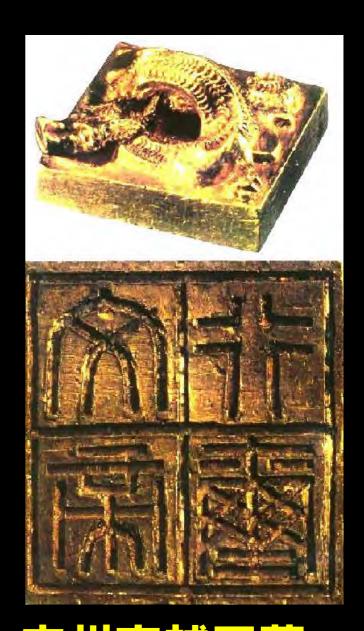


3)秦代墓出 土硯、磨石、 粒墨と木簡

4)前漢南越 王墓の硯 (前129年)





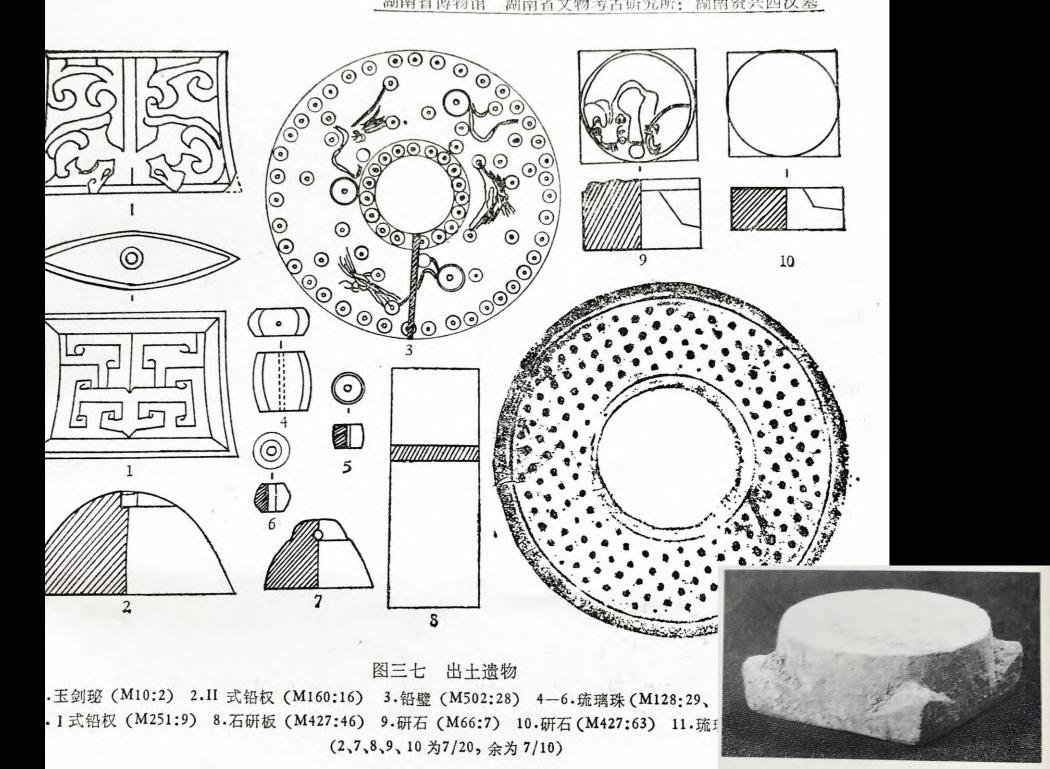


⇒ 広州南越王墓 ⇒ 文帝 前二世紀

田和山出土例のような方形石硯は前漢中期に出現

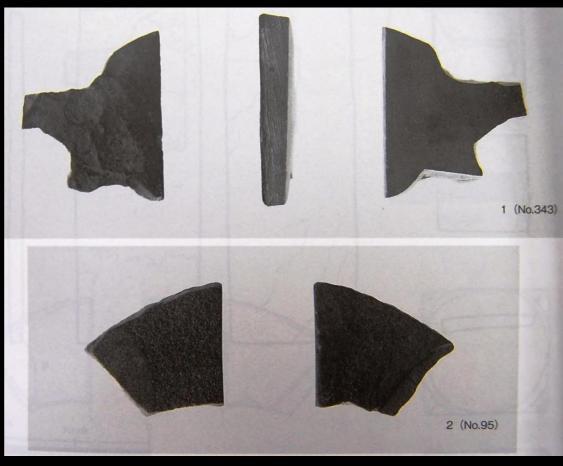


江蘇省東海県前漢墓出土漆箱入硯



田和山遺跡出土の板石硯





⇒前漢時代の硯の出土例

秦様式の円形石硯

- 陝西省句陽県鳳凰山8号墓
- ⇒ 陝西省西安市土門村
- ⇒ 上海市青浦県20号墓
- 広東省広州南越王墓
- 山東省金雀山出土
- **河北省石家莊柳辛村出土**
- ⇒ (漆箱入り)長方形石硯
- 湖南省長沙市望城坡
- 山東省臨斤市金雀山
- 江蘇省連貫港市
- 江蘇省東海県前漢簿出土
- ⇒ 江蘇省耶江県桃花村出土
- → 松江市田和山遺跡出土

最近福岡の三雲・平原遺跡で弥生時代後期の石硯の破片が出土したニュースが大々的に流れた。

そこでは日本最古級という表現が使われたが、田和山資料が数百年古いからである。

また本年7月には筑前町中原遺跡から1世紀ころの石硯の発見が報ぜられた。

田和山の石硯が日本最古の書道資料であることは揺るがない!

前2世紀末 弥生中期 田和山石硯・文字

1世紀 弥生後期 貸泉

漢倭奴国王金印

筑前町中原遺跡石硯

2世紀 三雲遺跡石硯2点

津市刻書土器

東大寺山古墳在銘鉄剣(中平・年5月)

3世紀 卑弥呼(親魏倭王印)

福岡三雲遺跡刻書土器

4世紀 古墳時代 熊本柳川遺跡(田)墨書短甲

三重嬉野(田)墨書土器

石上神宮七支刀銘文

(泰和・四年…百錬・七支刀…369年)

結論:

田和山遺跡出土の硯は前漢時代中期のもので、中国本土にも例が少ない貴重な遺物。

もちろんわが国では最古の書道資料であり、日本文化史上の大発見である。

田和山最大の宝として、知ってもらう啓蒙活動、文化財指定が必要である。